

項目	本邦における精巣腫瘍患者さんの実態調査	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	本邦における精巣腫瘍患者レジストリの作成およびコホート研究の基盤創出
	研究目的	本邦における希少疾患である精巣腫瘍患者の全国調査を実施します。精巣腫瘍に対する日本での治療の実際、その効果、予後、経過観察の方法などを把握することで、適切な治療方法、経過観察方法が明らかになることが期待できます。さらに治療における問題点を明らかにすることにより、今後の詳細な検討を要する課題の解決に向けた検討につながり、今後の精巣腫瘍治療の改善に役立てることを目指します。
	研究対象者	2004 年以降に、精巣腫瘍（胚細胞腫瘍）に対して手術を行った方で、手術時に転移がなかったと判断される患者さんを対象とします。
	研究期間	西暦 2019 年 5 月 7 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学講座(泌尿器科学) 植村 元秀 (講師)